

13. 労賃

個人間で賃金の相違をもたらす事情

今回の課題

- ✓ 個々人の中での労賃の違いをもたらす事情を明らかにする
- ✓ 一定時間内により高い価値を生む労働（複雑労働・熟練労働・高い強度の労働）が賃金によってどのようにペイされているのかを明らかにする
- ✓ 複雑多様な賃金体系の基礎になっている基本的な賃金形態を明らかにする

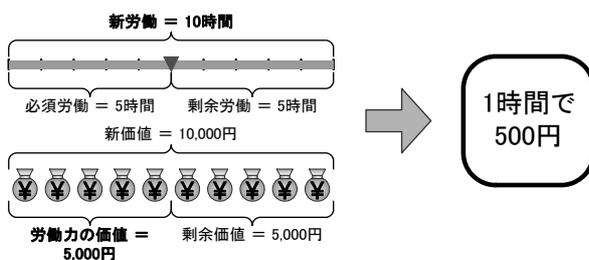
今回の目次

- ▶ 労働力の価値の相違によって生じる賃金の相違
- ▶ 労働力の価値とは無関係に生じる賃金の相違
 - ▶ 時間賃金
 - ▶ 出来高賃金

労働力の価値の相違

- 労働力の価値が高ければ賃金も高い
- 特別のコストがかかった複雑労働を評価
 - 能力給・資格給などのベース
- × コストの違いに基づかないような、個人間の能力・努力の違いを評価することはできない

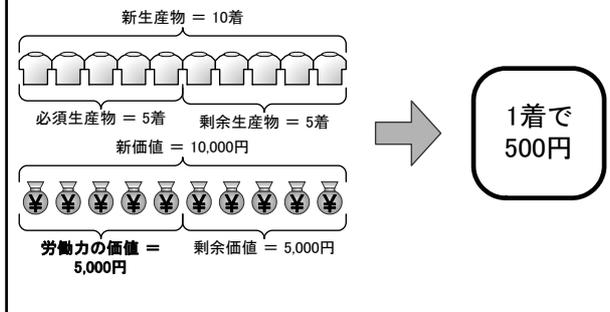
時間賃金の図解



時間賃金の解説

- 長時間労働を評価
 - 要するに時給
- × ダラダラと長時間、働いた労働も高い評価

出来高賃金の図解



出来高賃金の解説

- 高い強度の労働・熟練労働を評価
- 能率給・業績給などのベース
- × 個人の生産力の総和を超える社会的生産力が生まれる以上、個人の貢献を正確に測るのは不可能

今回の結論

- ❖ 複雑労働は、労働力の価値の違いで。
- ❖ 長時間労働は、時間賃金で。
- ❖ 熟練労働と高い強度の労働とは、出来高賃金で。
- ❖ 完全無欠な賃金制度などはありません。
 - ◆ 出来高賃金も組織社会の現実には適合しない。